

## 川西市の市花「リンドウ」は、昭和43年に市民の投票により制定されました。

### リンドウの育て方

#### 特 性

リンドウは、リンドウ科の宿根草です。  
リンドウの名は、漢名「龍胆」の発音が日本に伝えられ、なまったものと考えられています。その根は、昔から健胃剤として用いられてきました。  
花は、日光に敏感で、日が当たると開き、日がかけると閉じます。開花時期は、9～11月です。  
(川西市で自生しているリンドウ)



#### 置き場 手入れ

芽が出てから梅雨明けまでは、日光が充分当たる風通しのよい場所に置きます。7月～8月は直射日光を避けるため日除けをするか、半日日陰の木陰などで管理します。  
咲き終わった花からは病気の原因となるので随時取ります。花の後も、できるだけ日光に当てるようにし、地上部が枯れれば1～2cmを残し、地上部を切り取ります。その後は屋外で、できれば木陰や軒下などで管理します。

#### 水やり

水を好みますが、過湿にならないよう注意します。水やりは成育期間中、できれば1日1回、夏場は鉢土の乾き具合を見て1日2回与えます。鉢底から流れ出るくらいたっぷり与え、受け皿などに水がたまらないよう気をつけます。

#### 肥 料

少量でよいが切らさないようにします。  
液肥を月2回程度(1,000倍液)散布するのも効果があります。  
用土に緩効性肥料を混ぜてもよいです。  
花後も、地上部が枯れるまで、肥料を切らさないようにします。

#### 用 土

排水性と保水性を確保するように注意します。赤玉土、川砂、ピートモス、腐葉土などを混ぜたものを用います。

参考	①	赤玉土	6
		川 砂	2
		ピートモス	1
		腐葉土	1
	②	赤玉土	8
		ピートモス	2



(川西市で自生しているリンドウ)

## 植え替え ふやし方

植え替えは、上記用土を用いて、できれば毎年3月に行ないます。  
ふやすには、さし芽を5～6月に行なう。さし穂は、頂芽から3～4cm(3節)ごとに切りそろえ、下部の葉を取り去り、1時間ほど水あげをして上記用土か、鹿沼土、川砂等の用土にさします。さし芽を行なうと親株も低く押さえられ横にも張るようになります。

## 栽培の ポイント

夏場は、夜温が高くなりすぎないように気をつけます。  
冬の期間中、翌年にのびる芽と根は生きているので、水やりを忘れずに行ないます。  
大きくなった株は、3月の植え替えのとき株分けを行ないます。古土を落として、3～4芽が1株になるように分けます。



(川西市で自生しているリンドウ)